

ภาคผนวก

ภาคผนวก ก

「～ についての N」

ที่มา	ประโยค についての	กลุ่มภาคแสดง	ละ	แทน ด้วย
				๑
J13-2	そうすることで、歴史観 <u>についての</u> 議論が活発になり、歴史観を見直すきっかけとなるはずだ。	1	○	○
JES-9	語りの後、事実 <u>についての</u> 確認の質問を行なった。	1	○	○
JES-4	漢字の形態によるイメージ <u>についての</u> 調査	3	○	○
JES-15	また、トムソン (2002) は海外日本語学習者の日本文化 <u>についての</u> 学習を支援する教師は、「学習者が複数の情報源を持ち、多角的に、そして自分なりに文化を理解していけるような環境を設定してやること」が必要であると述べている。	3	○	○
JES-16	このような留学生であれば、外国語を学ぶ学習者同士という立場から、「国内の日本事情」 <u>についての</u> モデルやバリエーションを学ぶのではなく、「いま、ここ、このひと」に注目した学習活動ができるのではないかと考えた。	3	○	○
JES-23	海外で学習する学習者の言語学習全体のピリーフに関してはフィリピンでは片桐 (2005)、スリランカでは和田 (2007)、ハンガリーでは若井・岩澤 (2004) の研究があるが、特に教師の役割 <u>についての</u> ピリーフの研究はあまりない。	3	○	○
JES-19	また、YとPとの間の対話から知ることのできたPの学習 <u>についての</u> 意識は、Yの印象に強く残りYのタイ語学習についての振り返りを促している。	4	○	○
J20-1	彼 <u>についての</u> 話を僕から聞いたことがある人にして、それは僕が勝手に想像した人物だと思い込んでいるらしい。	1	×	○
J13-1	以前、新聞で鉄道事故 <u>についての</u> 記事を読んだことがある。	1	×	○
JES-2	旅行先 <u>についての</u> 話	1	×	○
JES-3	歓迎会の料理 <u>についての</u> 相談	1	×	○
JES-10	第3回目は、3回目のふり返りの内容を整理した上で、内容 <u>についての</u> 質問を行なった。	1	×	○
J6-1	誘拐 <u>についての</u> 説明を受けているでしょうね。	1	×	○
JES-21	しかし留学生が日本語の環境でメディアを活用することは容易ではないだろう。専門分野 <u>についての</u> 必要な情報を選び出すにあたってはその困難はなおさらである。	1	×	○

ที่มา	ประโยชน์ <u>についての</u>	กลุ่มภาคแสดง	ละ	แทน ด้วย
				の
JES - 24	この話題を展開しているペアのデータを観察すると、自分の印象や性格 <u>についての</u> 評価に対し、聞き手は「そうですか」のみを使用していた。	1	×	○
JES - 13	しかし、タイ人日本語学習者による依頼的なヒントに <u>についての</u> 研究は行なわれていない。	3	×	○
JES - 20	今後も、このような実践の行うことと並行して、学習活動に参加した学習者 <u>についての</u> 調査を行っていききたい。	3	×	○
JES - 26	本稿の目的は、日本人とタイ人のほめ方 <u>についての</u> 差異、特に、目下の者（学生）が目上の者（教師）の能力に対してほめる場合の相違点を明らかにすることである。	4	×	○
JES - 11	第6課では子ども <u>についての</u> 父親と母親の会話、第7課では、同じ家族の子ども同士の会話である。	1	×	×
JES - 14	また、聴解、日本事情、文学、読解の授業を見学したり、日本社会 <u>についての</u> グループ・ディスカッションに学習者とともに参加し、議論した。	1	×	×
JES - 12	そのような暗示的情報要求の言いさし <u>についての</u> 指導は十分な配慮がなされていないと指摘されている（佐藤 1993）。	1	×	×
JES - 17	そして、このような活動を通して、外国語学習を振り返り、また今後の外国語学習と自分との関係 <u>についての</u> 対話を行うことこそが、「第三の場所（third place）」を創造していくことであろう。	1	×	×
JES - 22	講義理解で起こる問題に対処するために、留学生がさまざまなストラテジーを用いていることがわかったが、同時に、ストラテジーを有効に活用できない状況 <u>についての</u> 言及もみられた。	1	×	×
JES - 25	実験にはこの4グループを利用し、それぞれに異なる内容 <u>についての</u> 「字幕なし」「全文字幕」「要約字幕」「キーワード字幕」の4種類のコンテンツを視聴させ、視聴後に内容確認問題5問に解答させた。	1	×	×
JES - 18	また、タイ語学習者Yは日本語学習者Pとの対話を通して、Pの日本語学習に対する意欲の高さに驚き、Y自身のタイ語学習 <u>についての</u> 反省を促されたようであった。	2	×	×
JES - 8	これらの問題点を踏まえ、本研究では理解と産出を調査するテストを併用し、事後調査で学習者の授受表現の使用 <u>についての</u> 彼らの判断基準、つまり中間言語の実態を確認するという手法をとった。	2	×	×
JES - 5	本研究では学習者の漢字 <u>についての</u> 意識を調査した。	3	×	×

ที่มา	ประโยชน์ <u>についての</u>	กลุ่มภาคแสดง	ละ	แทน ด้วย
				の
JES - 6	教師側には漢字教育 <u>についての</u> アンケートに回答してもらい、その後、フォローアップインタビューを実施した。	3	×	×
JES - 7	上記の調査票の他に漢字学習 <u>についての</u> 自由記述式のアンケート調査を実施した。	3	×	×
JES - 1	というのも、翻訳で一番面白いのは横になっている文章を、たてに起こすときのあの『ぎゅっ』とした感触で・・。」と、この様な感じで、この後彼の変った趣味 <u>についての</u> 感想は続いていく。	5	×	×

「～ について V」

ที่มา	ประโยค について V	กลุ่มภาค แสดง	ละ	แทนด้วย	
				を	に
J8 - 1	刑事たちは剛志 <u>について</u> だけではなく、直貴のこともいろいろと尋ねていた。	1	○	×	×
J3 - 1	私たちの結婚 <u>について</u> 説明するのはおそろしくやつかである。	1	×	○	×
J20 - 2	プロン自身は公園以外での僕の生活 <u>について</u> 問い質すことは一度もなかった。	1	×	○	×
J17 - 1	彼が大言壮語したこと <u>について</u> 語る者が幾日も絶えなかった。	1	×	○	×
J3 - 4	それ <u>について</u> 何度か意見したこともあるけど、羽根木さんは頑としてききいれなかった。	1	×	○	×
JES - 47	今後実習生らがさらに実践とふり返りを積み重ねていくことで、どのように今回の実践を考えていくのか <u>について</u> 記述していく必要がある。	1	×	○	×
JES - 48	海外日本語教育における日本文化の学習 <u>について</u> 、宮崎 (2000) は、「日本人とのインターアクション場面、特に教室以外での接触場面が限られるという点」が国内と異なると指摘している。	1	×	○	×
JES - 45	実習生 A～D (4 名) が何をどう認識していくのか <u>について</u> 示し、考察を試みた。その結果を以下にまとめる。	1	×	○	×
JES - 65	本稿では 2007 年現在のチュラロンコン大学、タマサート大学、カセサート大学、シラパコン大学、四校のカリキュラム・その評価 <u>について</u> 述べてみた。	1	×	○	×
JES - 43	以下に A 大学における日本語教育実習の年間スケジュールと批判的振り返りを取り入れた期間 <u>について</u> 以下に示す。	1	×	○	×
J13 - 3	チュアの虫下しの作り方 <u>について</u> カーンに聞かせてあげようと思った。	1	×	○	×
J17 - 2	この本の象を彫ること <u>について</u> 彼は自分にできると思い続けていた。	2	×	○	×
JES - 39	本稿では、2007 年 10 月から 2008 年 7 月にかけて、のべ 10 名の中上超級学習者が履修した授業実践 <u>について</u> 報告する。	3	×	○	×

ที่มา	ประโยค <u>について</u> V	กลุ่ม ภาค แสดง	ละ	แทนด้วย	
				を	に
J11 - 3	過去の自分の考え <u>について</u> 反省していたアンスマリンは快く領いた。	2	×	○	×
J13 - 10	ここでバロックというもの <u>について</u> 整理しておこう。	2	×	○	×
JES - 38	ここでは，研究目的 <u>について</u> 考察する	2	×	○	×
JES - 54	メディア利用と第二言語学習 <u>について</u> まとめた竹内 (2004) によると，字幕の提示方法としては，音声が外国語，字幕が母語の「標準提示方法」，音声，字幕とも外国語の「二重外国語提示法」，音声が母語，字幕が外国語の「逆提示法」が存在している。	2	×	○	×
JES - 66	これに対し，Krangsuwan (2004, p. 259) は日本の「ウチ」の社会 <u>について</u> 次のように論じる。	3	×	○	×
J6 - 5	私の行方 <u>について</u> 捜査しているそうだ。	3	×	○	×
JES - 36	また，書き方 <u>について</u> ，今回は分析から外したが適切な意識調査を試みることである。	3	×	○	×
JES - 44	このデータを基に何をふり返りの話題として取り上げ，語り手と聴き手の側から実践をどのように考えていったのか <u>について</u> 質的に分析した。	3	×	○	×
JES - 46	次に，実習生 B, C は海外の大学での実践 <u>について</u> ，自分の経験は何だったのか，他の実習生の実践と比較しながら自身の経験を位置づけていく様子が確認された。	3	×	○	×
JES - 63	自分はこれまで日本語の発音 <u>について</u> ，あまり教えてもらわなかった	3	×	○	×
JES - 30	後述する貿易産業省投資委員会及び在比日本大使館の働きかけにより，大学におけるビジネス日本語の展開 <u>について</u> 認可したが，自ら日本語教育を推進する動きは見られない。	4	×	○	×
JES - 60	こうした文脈の中で，多くの母語話者日本語教師が，田中(2002)が指摘したように，「日々研鑽に励み，現地の日本語教育のために汗を流 (同:214)」し，その真摯な努力が，現地の人々に感銘を与えた事例 <u>について</u> ，見聞する機会は無数にある。	4	×	○	×
J11 - 2	ヨーロッパで起こっている戦争 <u>について</u> だれも気にとめる人はいないが、オーンは買い物に出掛けては不平を洩らしていた。	5	×	○	×
JES - 59	こうした日本人教師の過剰な熱意と干渉の弊害 <u>について</u> ，NNT3，および北米・欧州・豪州を活動拠点とする NT1-6 からの指摘は見られなかった。	1	×	×	○

ที่มา	ประโยค <u>について</u> V	กลุ่ม ภาค แสดง	ละ	แทนด้วย	
				を	に
JES - 68	よって、女性は礼儀を考慮し、男性よりも自称詞と対称詞 <u>について</u> どのようなことばを選んで使って良いかを話し相手の性別・親疎関係・上下関係・年齢差などの条件により判断しなければならない。	1	×	×	○
JES - 69	さらに、スピーチレベルの使い分け <u>について</u> 説明はあるが、具体的な例や練習が不足している。	1	×	×	○
JES - 49	本稿では、筆者が実践した「文化リテラシー」の育成のための学習活動の分析と考察を通して、海外日本語教育における文化学習のための学習活動 <u>について</u> 、一つの方向性を提案する。	1	×	×	○
JES - 50	相互自己評価、対話相手のレポート <u>について</u> コメントをする。	1	×	×	○
J13 - 6	そしてしばらく経てば、誰もそのこと <u>について</u> 疑問をもたなくなる。	1	×	×	○
JES - 29	終わりに、インドネシアの日本語教育において、最も重要な問題のひとつである資金の問題 <u>について</u> 触れます。	1	×	×	○
J13 - 4	彼女がこのこと <u>について</u> どんな見解をもっているのか	2	×	×	○
JES - 41	とはいえ、この企業インタビューを充実させる為には、それ以前に各学習者が「自分と仕事」 <u>について</u> 明確なイメージを持ち、就職活動に対してすでに目標設定を行っている必要がある。	2	×	×	○
JES - 55	項目 <u>について</u> 3回のフィードバックを行った。	2	×	×	○
JES - 57	だが、これらの研究において、「日本語教師」と単純に総称されている人々が、図1の視点に立った場合、一体誰をさすのか <u>について</u> 、具体的な定義は通常なされていない。	2	×	×	○
JES - 58	ここでは、この母語話者教師の、「熱意」が惹起するもの <u>について</u> 、新たに実施したインタビュー調査からの示唆を踏まえ、考察を進めたい。	2	×	×	○
J6 - 6	使用人の仕事をせずただ座っていること <u>について</u> 、申し訳ないという表情をしているかもしれない。	3	×	×	○
J6 - 2	もう親友の死と自分をつなぐ写真 <u>について</u> 気付く者は存在しないはずだった。	4	×	×	○
J11 - 5	それは何かこれから話すこと <u>について</u> 気を配っているような言い方であった。	5	×	×	○
J6 - 3	亡くなったお友達 <u>について</u> 、本当はどんな感情を持っていたのか。	5	×	×	○
JES - 51	また、Yは、Pの学習に対する意識の高さから、自己のタイ語学習 <u>について</u> 、まだまだ意欲が足りなかったとの感想を述べている。	5	×	×	○
JES - 56	相互の問題を共有し、解決を考える活動 <u>について</u> 、参加者は以下の点で有益だと感じた。	5	×	×	○

ที่มา	ประโยค <u>について</u> V	กลุ่ม ภาค แสดง	ละ	แทนด้วย	
				を	に
J3-2	電話 <u>について</u> 話し合うべきじゃないかしら。	1	×	×	×
J3-3	おふろは、人工授精の確率と安全性について語り、家族において子供がはたす役割の重大さ、子供のみがもたらし得る幸福の数々 <u>について</u> 熱弁をふるった。	1	×	×	×
J16-1	同行の三人は、自分の相手の男性 <u>について</u> 楽しく語りあい、しゃしんを見せ合っていた。	1	×	×	×
J13-8	利用者数や所要時間を競い合ううてに、徐々にダイヤが過密になってしまう、という現状 <u>について</u> 記されていた。	1	×	×	×
J4-1	やつはお父さん <u>について</u> 色々なことを言う。	1	×	×	×
J8-2	途中、一人がある料理 <u>について</u> 質問した。	1	×	×	×
J8-3	それからしばらく朝美はマスターと音楽 <u>について</u> 話していた。	1	×	×	×
J11-1	後日、父のほうから娘の教育 <u>について</u> 面倒をみたい、と申し出があったが拒否された。	5	×	×	×
JES-27	CEFR <u>について</u> 特筆すべきは、「共通参照枠組み」の背骨となる「言語能力例示記述文：can-do statements (以下、CDS)」の制定である。	1	×	×	×
JES-28	パジャジャラン大学の大学院組織 <u>について</u> 説明を加えますと、大学院の運営母体は2つあります。	1	×	×	×
J11-4	ブアは自由タイ <u>について</u> さらに自慢話をしようとしたが、アンスマリンはさえぎった。	1	×	×	×
JES-53	井上(2002)は、「「そうですか」は単に「聞いたことがないことを聞いた」というだけだが、「そうなんですか」は「のだ」により話し手がそれまで知りえなかった実情に言及されるため、「(本当のところは)そうなんですか」というニュアンスになる(p.68)」と補足的に「「そうなんですか」 <u>について</u> 説明を加えている。	1	×	×	×
J20-3	父は昨日の夜、私たちが大事な機会に会合する場所 <u>について</u> 相談している最中に火花のように鋭いシグナルのこもった声で電話して来ました。	1	×	×	×
J12-1	モン族の現在地 <u>について</u> 詳細な報告書を書き、ソ連大使館に送付した。	1	×	×	×
J7-1	私は彼の二人の子供と奥さん <u>について</u> 考えていた。	2	×	×	×
JES-61	こうした状況 <u>について</u> 、日本語の市場価値が、現地語と比して相対的に高くはない北米・欧州・豪州においては、日本語母語話者性の持つ価値もそれに連動することなどから、母語話者教師と非母語話者教師との関係が、アジア・東欧とは異なるのではないかと推測される。	2	×	×	×

ที่มา	ประโยค <u>について</u> V	กลุ่ม ภาค แสดง	ละ	แทนด้วย	
				を	に
J13 - 9	自然 <u>について</u> 、日常で特別に関係を見直す機会は少ないものだ。	2	×	×	×
J19 - 1	同時にやがて迫り来る危険な日時 <u>について</u> 予測を行った。	3	×	×	×
JES - 67	更に, Shibamoto (1985) も女性のことば <u>について</u> 調査研究を行った結果, 日本の男性と女性は統語論的な発話の違いがあると述べている。	3	×	×	×
JES - 70	JF スタンダードの開発では, 長年の検証を経て確立している「外国語の学習, 教授, 評価のためのヨーロッパ共通参照枠 Common European Framework of Reference for Languages : CEFR」(以下「CEFR」) <u>について</u> 構築・運用のあり方を参照している。	3	×	×	×
J6 - 4	その間、家族や使用人 <u>について</u> 情報を集めていたのだろう。	3	×	×	×
J10 - 1	仕事を終えて官舎に戻ると、死刑囚処遇 <u>について</u> 学び始めた。	3	×	×	×
JES - 31	この点 <u>について</u> 学習上の問題を特に学習者の意識面から取り上げて検討している研究はあまりない。	3	×	×	×
JES - 32	学習者側には初級漢字 283 字 (3 級能力試験の漢字) の各々 <u>について</u> 読み・書き・意味についての学習者の習得意識, 漢字の記憶の度合い及び親密度を調査した。	3	×	×	×
JES - 33	次に, 漢字学習 <u>について</u> アンケートに記入させ, その後, フォローアップインタビューを行った。	3	×	×	×
JES - 34	アンケート及びフォローアップインタビューの結果: 漢字学習 <u>について</u> 自由記述式のアンケート調査を実施したが本研究では漢字の難しさについてのみ分析した。	3	×	×	×
JES - 35	次に, 漢字教育・学習の重要性 <u>について</u> 学習者及び教師にフォローアップインタビューをした結果を述べる。	3	×	×	×
JES - 37	そのため, 話し手が行為の受け手の場合における脱落「(て)くれる」「(て)もらう」 <u>について</u> 分析を行った。	3	×	×	×
JES - 42	そして, 後期には A 大学の実習授業に戻り, 提携先で体験した実践 <u>について</u> 「批判的ふり返り」活動を行い, その上で新たな実習に取り組んだ。	3	×	×	×
JES - 62	タイ人教師は, 日本語音声やその指導 <u>について</u> どのような意識や態度を持っているかを調べるために, 発音習得・指導への動機, 学習・指導の困難, 指導の重要性, 指導に対する自信, 教師の条件, 役割分担などに関する 30 項目の質問項目を作成し, 「強く思う」～「全然そう思わない」の 5 段階評定で回答を求めた。	3	×	×	×
JES - 52	そのため, 講義理解のストラテジー <u>について</u> インタビューによる調査を行い, データを個人別, 学年別に記述する。	3	×	×	×

ที่มา	ประโยชน์ <u>เกี่ยวกับ</u> V	กลุ่ม ภาค แสดง	ละ	แทนด้วย	
				จะ	に
JES - 40	前者では、転職経験や営業経験のある学内の若手職員に、後者はコンソーシアム企業（＝本コンソーシアムの学生にとっては就職志望業界）の若手社員に、就職活動における仕事選びのプロセスややりがいなどを語ってもらう点は共通しているが、後者では、就職志望先の特徴 <u>について</u> 内部の方の声を聞く他、教室で学んだビジネスマナーを実践することも目的である。	3	×	×	×
J3 - 5	笑子は人工授精 <u>について</u> しばらく忘れるということになっていた。	4	×	×	×
JES - 64	教える側はまだ発音 <u>について</u> 正しい知識を持っていない	4	×	×	×

「～ については ～」

ที่มา	ประโยค については	กลุ่ม ภาค แสดง	ละ	แทน ด้วย
				は
J9 - 1	その時の医者自身の体重の減少量 については 記録が残っていない。	1	○	○
J10 - 2	一六〇番の罪状 については 、すでに把握しているつもりだった。	4	○	○
J13 - 12	自分の考えが正しいかどうか については 、確信がなかった。	5	○	○
J8 - 7	成功している方法がどんな生活をしておられるか について は 大いに興味がある。	5	○	○
JES - 99	子どもに日本語学習の目的がないというのは最も重大な指摘だが、これ については 3で意義を問い直した。	1	×	○
J8 - 4	卒業後の就職先 については 、梅村教諭が探してくれているようだった。	1	×	○
J8 - 6	店を辞めた理由 については 、元々高校卒業までの短期間ということでしたからと答えてくれたようだ。	1	×	○
J8 - 10	だから、君が配置転換されたこと については 、私は関与していない。	1	×	○
J8 - 11	そのこと については 、由実子さんも何も書いてくれないんだよなあ。	1	×	○
J15 - 1	この件 については さらに細かく打ち合わせをしよう。	1	×	○
J15 - 2	参加する者 については だんだん詰めることにして、手品とか観覧車などがあってもよいな。	1	×	○
J13 - 13	彼はこのこと については 彼女と言いつ争いたくなかった。	1	×	○
J13 - 14	労働集約生産が特徴である農業社会に始まり、情報社会 については 知識集約産業と表現するのが適切である。	1	×	○
J13 - 16	日常的に問う観点の必要性 については 、村瀬学も主張している。	1	×	○
J10 - 3	それ については 、杉浦先生はいっさい関知していない。	1	×	○
JES - 78	その具体的な活動設計 については 言及していない。	1	×	○
JES - 79	分類の枠組は山下（2000）を元にし、新たに得られた項目 については 追加した。	1	×	○

ที่มา	ประโยค については	กลุ่ม ภาค แสดง	ละ	แทน ด้วย
				は
JES - 71	そこで、投資委員会は国内の大学が広くビジネス日本語教育を取り入れることを提案し、高等教育を管轄する高等教育委員会に協力を申し入れ認可されたが、この計画 については 日本政府機関が主導しており、すべてを日本からの援助を前提としたものであったため、実現には至っていない。	1	×	○
JES - 81	講義形式での授業を理解するために活用されているノートテキング については 、1・2年で言及があるが、その後消え、専門科目が増える3年以降は演習に関するコメントが出てくる。	1	×	○
JES - 88	単語ごとのアクセントの違い については 説明を行っている教師は約半数であったが、活用形、複合語、数字・助数詞のアクセントに関しては、説明を行っている教師が3割から4割程度と更に少なくなっている。	1	×	○
JES - 77	そして、タイにおいて日本文化社会をどのように教えるべきかという問題 については 、インカピロム (1988) が教材と教師の能力の面から考察を行っている。	2	×	○
JES - 86	一方で、そのような熱意が、現地の非母語話者教師にどう受け止められるか については 配慮も必要だろう。	2	×	○
JES - 90	困難さ については 、タイ人教師は全体的に発音を身に付けること、発音を教えることが難しいと考えていることが分かった。	2	×	○
JES - 87	しかし、実際の日本語教育現場で日本語音声がどのように教えられているかといった現状 については 、これまで十分な調査が行われてきていなかった。	3	×	○
JES - 89	また、イントネーションやプロミネンス、ポーズと言った更に大きな韻律の単位 については 、文末イントネーションが半数程度であったのみで、他は約3割にとどまった。	3??	×	○
JES - 73	漢字の能力 については 、2004年度日本語能力試験4級から1級の文字語彙の問題よりそれぞれ6問選び、計24問の漢字テストを作成した。	3	×	○
JES - 74	即ち、読み方 については 熟語のみだけでなく、各漢字の基本的意味の情報を与え、音訓など重要な情報も指導する。	3	×	○
JES - 76	しかし、提携先の教育機関との連携を取る実習プログラムの中に批判的ふり返り活動を取り入れ、そこでどのような可能性が見られるのか については 、ほとんど追求されていない。	3	×	○
JES - 83	複合語 については Lieber (Morphology and Lexical Semantics 2006) は「over」を動詞の前に置いて複合語を作ると「もっと複雑にさせ、もっと広げてという意味をもつ。	3??	×	○

ที่มา	ประโยค <u>については</u>	กลุ่ม ภาค แสดง	ละ	แทน ด้วย
				は
JES - 84	また、タイの学習者の人的リソースとの接触 <u>については</u> 、電話・手紙・Eメール・チャットなどを利用する学習者が多い（池島・長田・松尾・武蔵 2007）。	3??	×	○
JES - 95	歴史的な表現 <u>については</u> 、日本語母語話者にアンケートを行い、使用度の低い項目は分析から外した。	3	×	○
JES - 97	また、ほめる対象に関して、タイ人も日本人も共に、聞き手の能力をほめる率は高いが、親しくない目上の聞き手 <u>につ</u> <u>いては</u> ほめる率が低くなる、という結果を示した。	3	×	○
JES - 98	そして、相手に対する負担の重さ <u>については</u> 、Fukushima (2003) の研究結果に基づき、「知り合い」にお願いできる程度で、以下の三つの場面を設定した。	3	×	○
JES - 100	スピーチレベルに関する説明 <u>については</u> 、教科書全体を対象とする。	3?	×	○
JES - 103	時間による使用頻度 <u>については</u> 、10 分間程度の『地域紹介』のスピーチでは、4分までは助詞「ネ」の使用頻度が増加し、4分以降はそのまま高い使用頻度を維持している。	3	×	○
JES - 101	また、中途終了型発話 <u>については</u> 、「ナッターさんは？」「～はちょっと…」「～だし…」といった決まった形での表現が見られた。	4	×	○
JES - 92	発音指導の時期 <u>については</u> 、発音指導はなるべく早期に行ったほうが良いと、多くの教師が認識していた。	4	×	○
JES - 102	なお、日本語学習者 <u>については</u> 、日本語能力のレベルを認定するために、クローズ・テストを使用し、レベル分けを行う。	4	×	○
JES - 96	このうち社会的力関係（上下関係） <u>については</u> 、一般的には「基本的に目上の者から目下の者へ行われる」とされているが、古川の調査では「目上の者から」以外のほめも半数近く存在し、目下の者から目上の者に対するほめも少数ではあるが存在している。	4	×	○
J8 - 5	おまえの境遇 <u>については</u> よく分かってるよ。	4	×	○
J10 - 4	十年前の三上の補導 <u>については</u> 覚えておられますか。	4	×	○
JES - 72	同じ学習期間の学生でも、書字についてはどのくらい正確に書けるか <u>については</u> 、学習者一人一人に注意を払う必要があると言えるだろう。	4	×	○
J8 - 8	若いときは、親のやり方 <u>については</u> 、大抵納得できないものだ	4	×	○
J11 - 6	どうして？お母さんはこういう問題 <u>については</u> 理解があるわよ	4	×	○
J13 - 11	カーン先生は夫人の生まれながらのこの資質 <u>については</u> 、 <u>す</u> ではっきりと意識していた。	4	×	○

ที่มา	ประโยค については	กลุ่ม ภาค แสดง	ละ	แทน ด้วย
				は
JES-80	「他の人々と協力する」ことも社会的ストラテジーであるが、友達との付き合い については 、友達が欲しいがなかなかできない(C・D)、友達はいなくてもいい(A)、友達が心の支え(B)、と個人差が見られる。CとDは同じ国の留学生がいらないが、AやBは同国人の留学生が多いという状況の違いも影響しているのであろう。	4	×	○
J8-9	大学の成績 については ある程度自信がある。	5	×	○
JES-93	日本人教師との役割分担 については 、「発音を教えるときには、日本人教師の協力が要だ」に賛成する傾向が示されたが、「発音を教えるのは、日本人教師の仕事だ」に対しては否定的であった。	5??	×	○
JES-94	指導法 については 、「学生が誤った発音をした場合には、その場ですぐ直した方がいい」に対して、賛成する傾向が見られた。	5??	×	○
J13-15	生きること については 、日常で特別に関係を見直す機会は少ないものだ。	2	×	×
JES-82	8番の宿題に関する項目はタイはフィリピン、スリランカ、ハンガリーの結果との差が大きく、これ については 宿題は自分ですべきであり、自分の責任であると考えられている傾向がある。	2	×	×
JES-85	しかし、特に海外で活動する母語話者日本語教師 については 、学校教師養成の理論を、そのまま当てはめることには躊躇すべきであろう。	2	×	×
J9-2	理佳はまだ徳永家の天井裏の2体の死体 については 知らされていなかった	4	×	×
J19-2	国政 については そのことくらいしかクーンには知識がなかった。	4	×	×
JES-75	読めると意味が分かる については 意識だけでなく実際に試験を試してみる必要があるだろう。	4	×	×
JES-91	知識、自信 については 、「日本語の発音をどう教えたらいいか、わからない」、「自分の日本語の発音に、自信がない」に対して、賛成意見が示された。	5??	×	×